

— 地域包括ケアシステムの実現をサポート —

地域包括ケアにおける多職種連携ツール



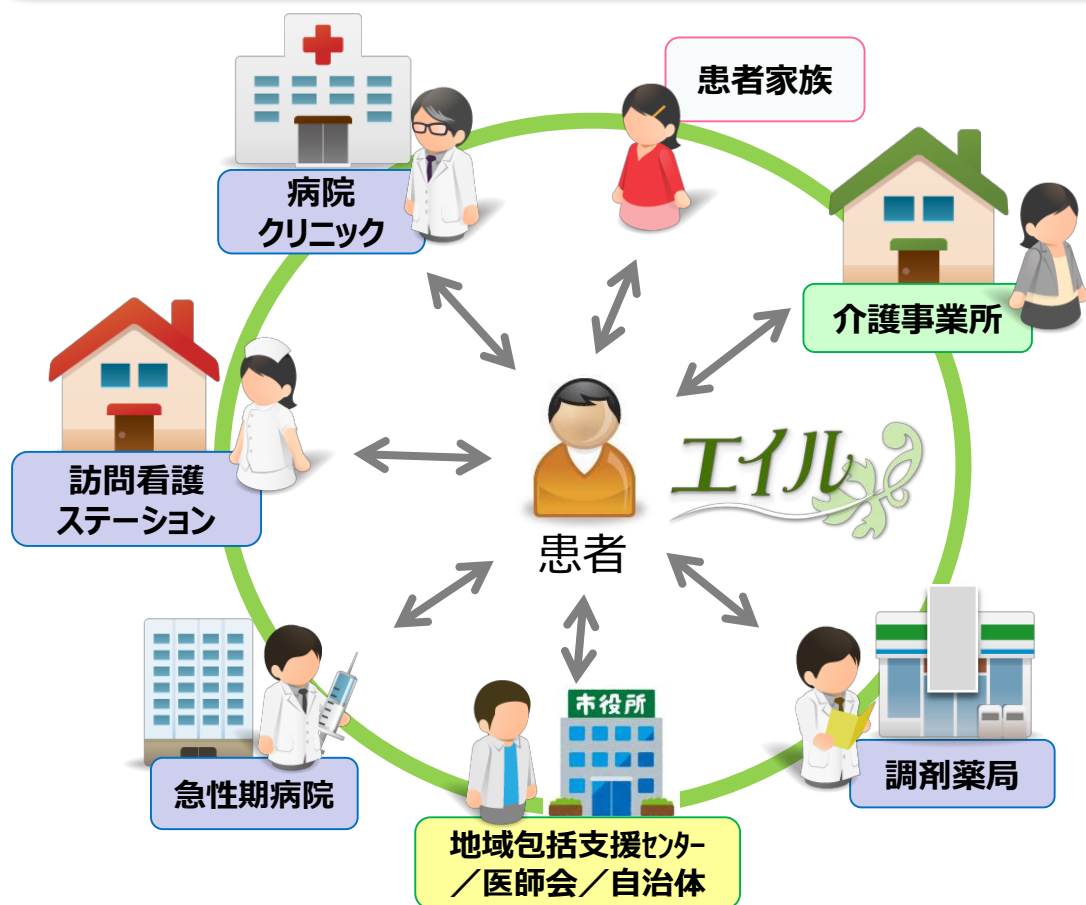
2016年6月

エイル 在宅

エイル 株式会社 エイル

「エイル」のご紹介

エイルは、地域医療連携を推進する病院・クリニック・訪問ST・ケアマネなどを中心に利用されている、「医療介護従事者様向けのASP型在宅患者情報共有プラットフォーム」です。患者基本情報と訪問メモを中心に、機密性を保ちながら多職種・多事業所の従事者間で安全に患者様の情報が共有でき、地域包括ケアのスムーズな運用をサポートします。



エイルの基本機能

- ✓ **健康管理カルテ（患者基本情報）**
- ✓ **連絡ノート（訪問メモ）**
- ✓ チャット（カンファレンス）
- ✓ スケジュール共有
- ✓ ファイル共有（キャビネット）
- ✓ 情報提供書作成
- ✓ 訪問計画書・指示書・報告書
- ✓ 処方箋作成、調剤内容共有
- ✓ **電子カルテ／レセコン連携**
- ✓ **病病連携ネットワーク接続**



エイルが提案する地域包括ケア①「健康管理カルテ」

エイルの患者基本情報機能を使って、高齢者を中心に地域住民の医療・介護に関わる基本的な情報を共有します。基本情報の更新は、医療機関やケアマネを中心に随時行い、地域内の医療機関、介護事業所で共有します。

住民



- ✓ 緊急連絡先
- ✓ 持病、病歴、服薬状況
- ✓ 介護度、ADL
- ✓ かかりつけ医療機関
- ✓ 利用介護サービス
- ✓ 禁忌事項、注意すべき事柄



医療機関

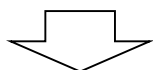
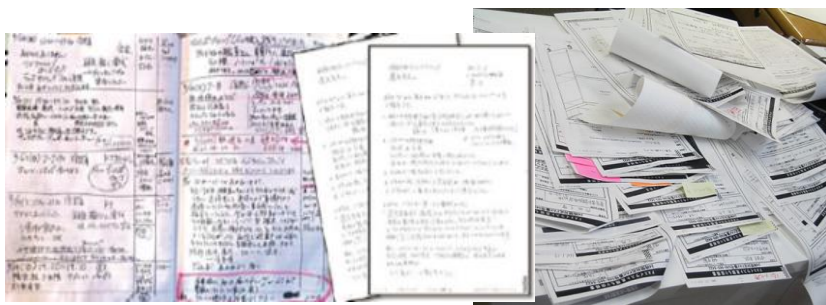
介護事業所

行政

- 緊急時（**容態の急変、事故、災害**など）に**安全かつ速やかな**対応を可能にするために、あらかじめ住民の健康情報を収集管理
- 医療機関やケアマネ、行政などにより必要に応じて内容を更新
- 在宅医療やターミナル期には、そのまま地域連携カルテとして利用する
- 近隣の**急性期病院**とも共有
- 地域の特性・実情に合わせて記入項目を**自由に設定**可能
- 職種に応じた**アクセス権**の設定も可能

エイルが提案する地域包括ケア②「連絡ノート」

エイルの訪問メモ機能を使って、在宅医療が始まった方、特に多職種での見守りが必要な方に対して、診療の内容、処方・処置の内容、申し送り、気づきなどを共有。看取りまでを見据え、「地域」を「病院」、「自宅」を「病室」へ。



- 患者宅に置いておく「**連絡ノート**」から ICTを使ったデジタルでの共有へ
- **写真や動画**を簡単に共有、正確かつ迅速に伝わります
- コメントや未読・既読も分かるので、多職種間での「**報・連・相**」が簡単に実現
- 緊急フラグなどに応じた**通知機能**で大事な投稿も見逃しません
- スマフォやタブレットにもアプリで完全対応 **圏外のエリア**でも使えます
- 現在お使いの看護記録等の**紙の様式をそのまま入力フォーム**にカスタマイズもできます

エイルが提案する地域包括ケア③「病病連携ネットワーク」に接続

エイルから中核病院の電子カルテを参照、中核病院の電子カルテからエイルを参照。
登録された内容をリアルタイムに相互に参照することで、地域包括ケアをシームレスに実現。

◆ エイルから見た電子カルテ

① 病院カルテをクリック

② 見たい内容をクリック

③ ここに表示される

検査項目	検査日時	検査結果	検査施設
臨床検査科	2016/04/08	016	野洲総合 入院 検査科
FBAI(NGSP)	0.4	0	
乳び	0	0	
尿血	0	0	
尿潜	0	0	
TPP尿	0.1	0	

◆ 電子カルテから見たエイル

① 見たい内容をクリック

② 見たい内容をクリック

PDFの場合

③ 別ウィンドウで表示される

画像付きレポートの場合

- エイル（在宅医療、介護）側から、退院サマリや検査結果、処方オーダ、病院からのコメント情報などをリアルタイムに参照
- 退院時や、外来での検査結果確認に活用

- 中核病院側から、患者基本情報や訪問メモ、キャビネットのファイル（PDF）をリアルタイムに参照
- 救急搬送時や、退院後の経過観察に活用

システムイメージとセキュリティについて

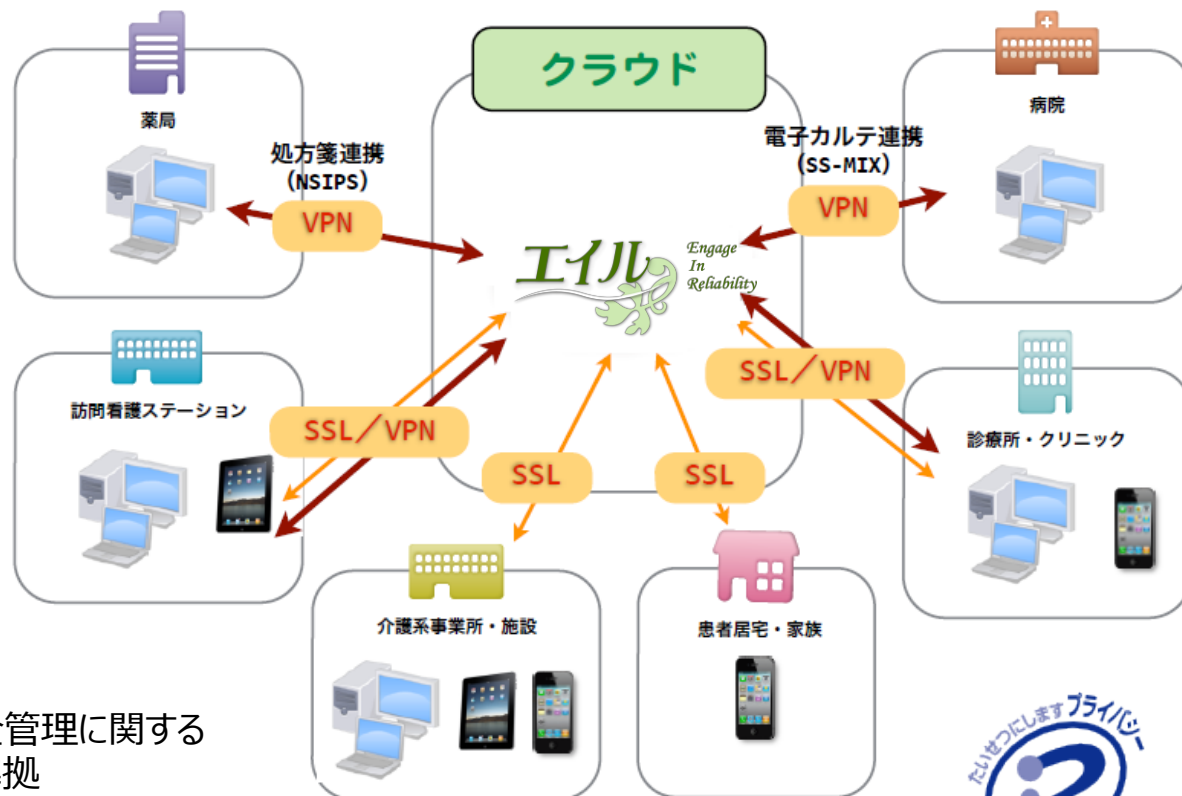
当ツールはクラウド型サービスなので、個人情報などの機密情報を、パソコンなどの端末内に残しません。また、SSL通信・VPN接続によりセキュリティを担保し、第三者からの盗聴・改ざん・なりすましを防ぎます。これらにより、安心・安全に当ツールをご利用いただけます。

■セキュリティについて

- ・ユーザー（職種）に応じて、**閲覧・書き込みのアクセス制限**
- ・モバイル端末では、二段階認証を使った端末のアクセス制限
- ・ユーザーID+パスワード+固定端末IDの管理を行い、ユーザーと携帯端末を認証
- ・ネットワーク経路はデータ暗号化プロトコルの最新版TLS1.2に対応
- ・VPN接続を希望されるユーザーにはVPN接続オプションで対応可能

■各省庁が発行するガイドラインに準拠

- ・厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第4.2板」必須要件に準拠
- ・経産省が発行する「医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン」を遵守
- ・総務省が発行する「ASP・SaaS事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン」を遵守



利用実績

◎現在の登録実績

登録累計患者数 : 約6,500人

登録事業所数 : 約610事業所

登録利用者ID : 約2,300人

◎メディア掲載（雑誌、書籍、新聞、テレビ番組）

《O.A.》

TVQ ルックアップふくおか 2011.12.07

《掲載新聞・雑誌・書籍等》



日経産業新聞 2016.05.24

ナース専科 2015年11月号

西日本新聞 2014.07.03

日本経済新聞 九州・沖縄版 2012.05.03

西日本新聞 朝刊1面 2012.05.01

看護ジャーナル2012年2月号vol2.no.2

医療タイムス 2011.8.1 No.2022

INNERVISION2011(26.7)2011

ITvision No25(2012)

JASVA2011Summer(No.4)

保険診療 第66巻第11号

医療経営2010.12

医療現場iPad実践ガイド

新IT医療革命



その他多数掲載

◎導入実績(3年以上継続契約、一部抜粋)

《自治体・医師会様》

広島県東広島地区医師会、大阪市東淀川区医師会、富山市医師会、長野県須坂市、長野県阿南町、奈良県宇陀市 他

《事業所様》

(東京) 桜新町アーバンクリニック、(富山) 富山赤十字病院、(兵庫) 柏原赤十字病院、(栃木) 医療法人社団 友志会(訪問看護ステーションたんぽぽ)、(宮城) 気仙沼市立本吉病院 他

全国各地に導入！

※2016年5月末現在（累計値）

エイルは、地域医療介護連携の体制づくりも支援いたします

地域医療介護連携は、ツールの導入だけを先行させると、推進力が得られないケースが散見されます。お互いの**顔が見える**地域づくりが最も重要です。

ケース1

在宅医療・介護連携ツールを導入したが、そもそも事業者・従事者間の連携ができておらず、ツール利用が進まない・・・

ケース2

医療・介護情報共有ツールは導入されているが・・・。気が利かないというか、別システム連携もしてもらえず、何とも使いづらい・・・

ケース3

地域の医療・介護事業者情報を集めたが、利用されていない気がする・・・。また、定期的にメンテナンスしていきたいが、そんなリソース確保できない・・・

ケース4

情報共有ツール、地域資源情報整備、地域包括ケア体制立ち上げなど、様々な組織・企業が入り混じっている。そのため、サービスを跨いだ形でコンセプト設計されておらず、結果的に各事業所の連携がとれていない・・・



地域医療介護連携を先行して導入している先進地域とともに培ったノウハウをもとに、企画・立上げ・導入・運営まで、実践的な支援をさせていただきます